



The Human 識者に聞く

名古屋市立大学では、献体を用いて医師が技術トレーニングを行う専門施設「キャダバー・トレーニングセンター」開設に向けた準備をスタートさせました。すでに解剖学、法医学、臨床の各分野の医師たちで組織されたワーキンググループを立ち上げたのに加え、早ければ来年夏頃のトレーニング開催をめざし、着々と準備が進められています。そこで今回、キャダバー・トレーニングセンターを開設するに至った経緯やその目的、センターの将来像などについて、活動の中核を担う統合解剖学の植木孝俊教授にお話を伺いました。

キャダバー・トレーニングセンターにより、 医師教育、医療機器開発の両面で社会貢献をめざす。

名古屋市立大学大学院医学研究科
統合解剖学分野 教授

植木 孝俊

1993年 筑波大学大学院医学研究科修了後、国立精神・神経センター神経研究所、浜松医科大学、米・ジョンスホプキンス大学、米・国立衛生研究所に勤務。2014年より現職。神経解剖学・脳画像医学を専門としている。



全国の医師たちの トレーニング拠点として

通常、医科大学・大学病院の役割には、「研究」、「教育」、「臨床」の3つがあります。名古屋市立大学では、そこにもう1つの役割として、「社会貢献」を加えています。そして、この社会貢献の一環として私たちが取り組もうと考えているのが、キャダバー・トレーニングです。

キャダバー・トレーニングを通じて、医師がレベルの高い医療技術を習得することができれば、患者さんがより高度な医療を安全かつ安心に受けられるようになり、大きな社会貢献につながります。これまでの医科大学・大学病院は、医学生を医師へ養成することに主眼が置かれ、学位の取得という目的以外で、卒後教育としての医療技術のブラッシュアップ、医学知識のアップデートなどには、十分に力を注いできませんでした。そこで、名古屋市立大学では、新たに卒後教育に力をいれ、その成果を患者さんに還元していくために、キャダバー・トレーニングセンターの開設に動き出したのです。日本のほぼ真ん中に位置し、交通の便が良い名古屋市にキャダバー・トレーニングセンターが開設されれば、全国の医師たちが集うトレーニング拠点として大きな役割を果たすことができるでしょう。

多くの外科領域に トレーニングを活かせるように

キャダバー・トレーニングセンターでは、整形外科をはじめ、脳神経外科や心臓外科など、多くの外科領域においても、トレーニングを実施することができる仕組みを作り上げたいと考えております。私の専門分野であるCTやMRIなどの画像診断技術により、献体での術中に手技をモニタリングし、補正するトレーニングシステムの構築を行う計画です。現在は、愛媛大学のサージカルトレーニングセンターをお手本にし、具体的な構想を練り始めており、解剖・法医学・臨床の各分野の医師たちが参加するワーキンググループも立ち上げました。来年の夏には、実際にトレーニングを実施するセミナーを開催したいと考えております。

そして、何よりも優先しているのが、活動の基盤となるご遺体の受け入れとご意思の確認、利用に関するルール作り、情報管理の体制整備です。特に、献体に関する規定や倫理面はしっかり整えておかないと、今後のみならず今までの献体や解剖の枠組みが、こじれてしまうことになりかねません。現在、名古屋市にある献体篤志家団体の不老会に、ご協力をいただきながら取り組んでいます。

キャダバー・トレーニングによって よりよい医療の実現をめざす

将来的には、キャダバー・トレーニングを医師の教育だけでなく、手術ロボット、画像診断装置などの医療機器や新薬の開発にも活かすことができると考えています。まだ立ち上がったばかりの活動ですが、メリジャパンとも協力して、よりよい医療の実現、社会貢献に努めていきたいと思っております。

医師の技術向上を図るセミナーを開催します。

このたび、NPO法人メリジャパンでは、札幌医科大学、同大学医学部整形外科学講座及び同大学解剖学第二講座のご支援とご協力をいただき、国内初となる民間団体が開催するご遺体(献体)を使つての医師の手術手技向上研修を実施することになりました。

この研修は、平成24年6月に日本外科学会と日本解剖学会が連名で公表した「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」と厚生労働省が、平成24年度から開始した「実践的な手術手技向上研修事業」に基づき実施されます。セミナーの概要は以下のとおりです。

脊椎MIS Cadaver Seminar

日時 2015年1月23日(金)・24日(土)

場所 札幌医科大学 記念ホール会議室及び解剖実習室

講師
(五十音順)

- 石井 賢 先生(慶応義塾大学)
- 齋藤 貴徳 先生(関西医科大学附属滝井病院)
- 高野 裕一 先生(岩井整形外科内科病院)
- 吉本 三徳 先生(札幌医科大学)
- 稲波 弘彦 先生(岩井整形外科内科病院)
- 佐藤 公治 先生(名古屋第二赤十字病院)
- 蜂谷 裕道 先生(はちや整形外科病院)

主催 札幌医科大学整形外科学講座・解剖学第二講座

共催 特定非営利活動法人メリジャパン

後援 ●日本脊椎外科近未来研究会 ●日本MIS研究会

協賛

- 特定非営利活動法人 名古屋整形外科地域医療連携支援センター
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デビュー・シネクス・スパイン事業部
- 日本スライカー株式会社 ●ニューベイスンジャパン株式会社
- メトロニック・ソファモアダネック株式会社

受講者 20名(全国から参加申込みをした整形外科医)

会員募集・ワンコイン募金のご案内

メリジャパンでは、私たちの趣旨にご賛同いただける方に会員登録・寄付などをお願いしております。詳細は、別紙案内書をご覧ください。

編集

後記

平成25年8月に、MERI JAPAN NEWS VOL.6を発行してから1年余りが経ちました。この間に、私たちが活動している医師の技術向上を図るため、国内でご遺体(献体)を使わせていただいた研修が法的に担保され、平成24年度から医学部を有している大学で本格的に開始され、現在、6大学が取り組んでおります。

これも、私たちが国に対して、問題提起をしたことによる成果と考えております。今回のセミナーを必ず成功させ、今後開催されるであろうセミナー等に成果を反映させたいと考えております。今後とも、皆さまの変わらぬご支援とご理解をいただき、活動を続けてまいります。(O)



MERI Japan

●お問い合わせ先

特定非営利活動法人メリジャパン

〒464-0821 名古屋市千種区末盛通2-4 はちや整形外科病院内

電話 052-751-8197 E-mail meri_info@hachiya.or.jp

URL <http://www.merijapan.org>